



諏訪清陵SSH便り

諏訪清陵高等学校
2月号その1
平成26年度 第27号
(平成22年度指定)

SSH 課題探究発表会及び附属中学校学習発表会開催（本校・諏訪市共催） ～2月7日(土)13時より諏訪市文化センター大ホールほか～

平成26年度SSH課題探究発表会を2月7日に諏訪市文化センターで諏訪市教育委員会と共催で、一般市民にも開放して開催しました。今年度は、2学年SSHコースの生徒が学校設定科目「理数課題研究」で取組んだ課題探究の成果10テーマ、1学年生徒全員が学校設定科目「SSH情報」で地元の先端技術産業等で研修のうえ課題を設定して取組んだ研究成果3テーマの口頭及びポスター発表を行いました。また、同時に本年度開校した附属中学校の初めての学習発表会も開催しました。

発表会はまず附属中学校生徒による1年間の総合的学習の時間を中心とする取組みのプレゼンテーションから始まりました。『SEIRYO TIMES』の新聞づくりで、「清陵や地域の良さを発見」することができたこと、『キャリア教育の取組』では地域開放講座、講演会で地域の企業経営者や一つの仕事を成し遂げた大先輩のお話を聞きしたり、農業体験等の体験を通して、「今を見つめ、将来の自分を考えることができたこと」、『清陵のお膝元プロジェクト～「すわっていいよ」を伝えよう～』では、いくつかのグループに分かれて地域を探索し「学びのふるさとのがたを知り、発信する」取組みをしたことを、キラキラした眼差しと言葉で聴衆に発表しました。高校生諸君も附属中学校の学習の取組みを始めて知り、感心するとともに改めて地元を見直す機会となったようです。

その後、高等学校1年生徒が1年間取組んできた『SSH情報』の課題研究の成果発表があり、「宮坂醸造株式会社」、「太陽工業株式会社」、「日東光学株式会社」を取材した3グループが、それぞれの企業に取材のうえで取組んだ研究を発表しました。各企業が起業した背景を地域の特質と結びつけて解説したり、各企業がどのような技術や企業理念を持って世界に向けて事業展開しているかを丁寧に分析、解説していました。日東光学で取材、研修したグループは日東光学がもともと製糸業から会社が始まったこと、その後の諏訪の産業構造の変化を受けて、業務を転換して光学分野で力を発揮しており、最近では開発したレンズが『はやぶさ2』に2種類搭載されていることを発表しました。生徒からは通学途中に何気なく通り過ぎている会社が、日本、世界、宇宙で活躍していると知って誇らしく思ったこと、進路選択にも役立ちそうだとの発言がありました。

引続き、2学年SSHコースの課題探究発表があり、彼らが1年次12月のテーマ設定から2年次の6月、9月、12月の三回の中間発表を経て探究活動をしてまとめた10テーマの口頭発表とポスター発表が行われました。

今年度のテーマは、31名のコース生徒が先ず一昨年12月から色々な分野について一人5テーマを提案し、全員で討議したうえで探究に相応しい10テーマに絞って、グループで研究を協働的に実施してきたものです。途中3回の中間発表では、英語による発表、進捗状況や結果の考察について遠慮ない討議をしながら研究を進めて、当日の発表を迎えました。12月の中間発表以降、仲間の指摘を踏まえて実験をやり直したり、考察を踏まえて新たな仮説を設定してさらに研究を深めてきました。

当日は、手際よくプレゼンテーションスライドやポスターにまとめることができたようです。今回の発表グループは本校で初めて1年次からSSH情報で探究学習を経験してきた生徒です。SSH情報の学習効果がでており、相対的に要領よく研究を進め、まとめることができていたのではないかとの評価を頂きました。

発表会当日、一般生徒からの積極的な質問、助言等を期待したのですが、意外に質問が少なかった点は課題でした。それでも、1年生から率直な疑問や、実験手法についての質問が出され有意義な時間となりました。

口頭発表後のポスター発表では、一般参加者、中高生から直接発表者に質問、助言が多く出され、発表者にとってとても充実した一日となりました。

